

# 兵庫トレセン選抜 2回戦で敗退 尼崎選抜も1回戦で敗れる

## — 第2回関西中学生サッカー選手権大会 —

第2回関西中学生サッカー選抜大会は1月4日長居競技場で始まった。今回参加したのは滋賀を除く近畿2府3県から選抜された12チームで、兵庫トレセンの三牧直喜主将が宣誓した。

▷1回戦  
兵庫トレセン1 (1-0) 0 中河内選抜(大阪)

▷2回戦  
兵庫トレセン1 (1-1) 1 那賀FC(和歌山)

PK 2-3

2回戦の勝者那賀が決勝へ進出し、結局前回優勝の三島選抜を破り初優勝を飾った。なお、優秀選手に溝畑と三牧が選出された。兵庫トレセンメンバー  
齊藤(辰美中)辻(KFC)山中(同)溝畑(同)井上(同)田坂(同)奥井(瓦木中)三牧(同)沖原(同)井上(竜野西中)跡上(同)

### 結果

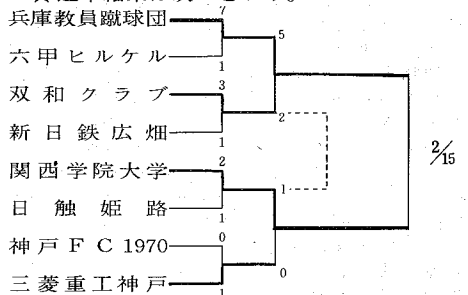
1. 兵庫トレセン選抜(兵庫)
2. 中河内選抜(大阪)
3. 泉北FC(大阪)
4. 那賀FC(和歌山)
5. 京都府選抜(京都)
6. 奈良選抜B(奈良)
7. 大阪市SC(大阪)
8. 三島選抜(大阪)
9. 奈良選抜A(奈良)
10. 尼崎市選抜(兵庫)
11. 北河内選抜(大阪)
12. 京都市選抜(京都)
13. 南海FC(和歌山)
14. 陵南クラブ(大阪)

# ◁ 兵庫カップ ▷

## 関西社会人リーグ勢強し

サッカー王国兵庫の雄を決定する第7回兵庫カップは2月1日から15日にかけて兵庫教員団ははじめ8チームが参加して中央球技場で開催された。関西社会人リーグの兵庫教員団、三菱重工神戸が強さをむきだしにし、こまめで来いと他チームをひっばってほしいものである。

☆途中結果は次のとおり。



### 県立芦屋高校「サッカー部のあゆみ」刊行

兵庫県立芦屋高等学校「サッカー部のあゆみ」が刊行された。芦屋高校の創立40周年記念事業としてOB会が部史の編集をすすめ、B5版、256ページで、県下の各大会の上位校の成績一覧や全国大会等の県代表校の成績がすべて収録され、高校サッカー指導者や関係者にとって興味ある内容になっている。

この本、ご希望の方は下記へ現金書留で申込んで下さい。 ¥ 3,500.-  
〒659 兵庫県芦屋市宮川町6-3  
兵庫県立芦屋高等学校サッカー部OB会宛

### 日本のサッカーを応援しよう

#### ◎日本サッカー協会後援会会員募集

日本サッカー協会(東京都渋谷区神南1-1-1) 〒150 電話 03-485-1321)は、昭和56年度の新会員を募集しています。

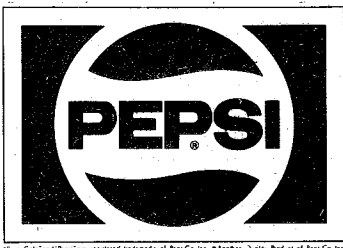
会費 10,000円(年会費)  
特典 日本サッカー協会の主催するすべての大会へ招待される。

後援会制度は、日本サッカーをより強くするため1万人会員を目標にがんばっている。現在約2千人の会員がサッカー狂になりサッカーの醍醐味を味わっている。サッカーを楽しみたい人は是非参加して下さい。

### 個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として50円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

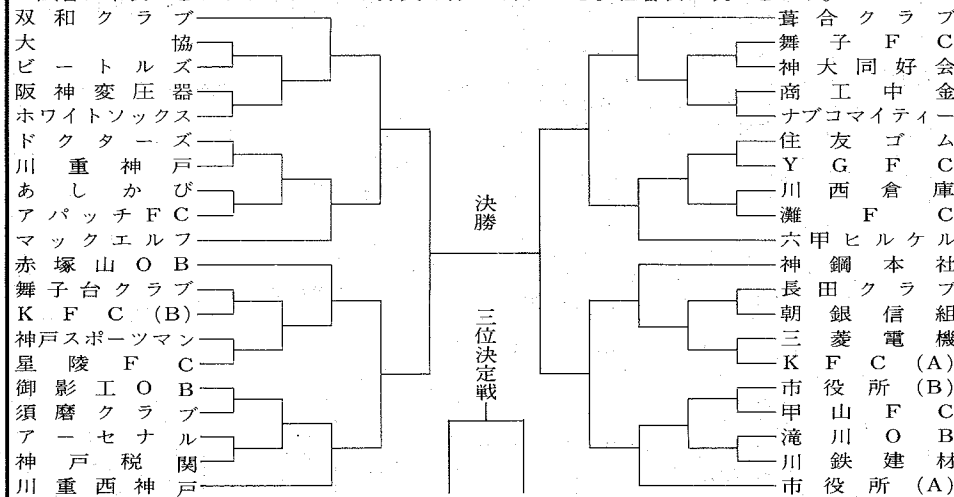
〒657 神戸市中央区八幡通2-1-10  
三木記念神戸市立スポーツ会館内  
神戸市サッカー協会 078-232-0753  
なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



# 激戦 市リーグカップ始まる

神戸市サッカー協会の社会人リーグ選手権大会は2月11日から4月12日にかけて1部リーグから3部リーグまでの40チームが参加して開催される。兵庫カップはすべて中央球技場で開催されるが今大会は決勝と3位決定戦のみ中央で行われる。2部、3部リーグのチームが1部のチームを破ることを期待したい。試合は下表のとおりトーナメント方式で行

われ、同点の場合はトスで決定。1~2回戦は60分、3~4回戦70分、準決勝以降は80分決勝のみ延長戦を10分~10分で行う。交替は5名、開始前に10名に満たない場合は棄権となり、次回の当大会へは参加できない。高等学校のグラウンドを使用する場合、青少年の育成上、特にタバコ等のゴミを清掃して帰ること。組合表は次のとおり。



### 関正スポーツ

東灘区住吉宮町4丁目6-13 ☎078(821)8449  
国鉄住吉駅南西側へ20m

### 灘スポーツ

灘区倉石通5丁目1-8 ☎078(861)4671  
市バス水道筋6丁目上る100m 東側

### 塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870  
バンドウ化学南

### MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895  
プラーショップ、トーアロード店 ☎078(391)0896  
神戸・新開地店 ☎078(575)7688

### ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186  
阪神深江駅北側信号西

### オウビ

中央区琴緒町4-4-5 ☎078(242)3667  
国鉄三宮駅北側神戸理髪専門学校斜め前(田上ビル1階)

### スメラ

湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234  
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

### 加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234  
国鉄元町駅南側東へ100m

### マヤスポーツハウス

灘区森後町1丁目8-8 ☎078(841)8811  
国鉄六甲道駅北 兵庫信用金庫六甲支店山側

# 神戸のサッカー

1981 2月号

発行所 神戸市サッカー協会  
神戸市中央区八幡通2-1-10  
三木記念神戸市立スポーツ会館内  
〒651 ☎(078)232-0753  
発行人および編集人 加藤 正信  
神戸市灘区上野通6丁目3-12  
〒657 ☎(078)861-3100

毎月1回10日発行 購読料1部30円

# ベスト8進出成らず

▷1回戦  
御影工4 (2-1) 1 室蘭大谷  
(2-0)

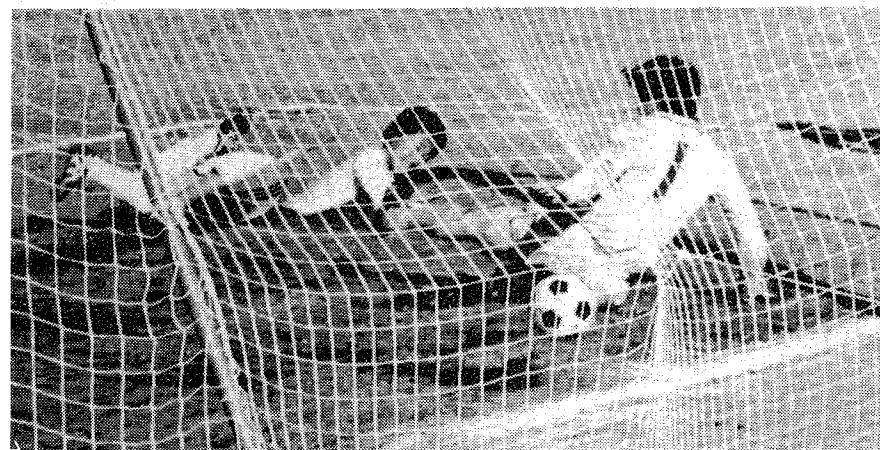
▷2回戦  
御影工1 (0-3) 4 葦崎  
(1-1)

## — 第59回全国高等学校サッカー選手権大会 —



対室蘭大谷 前半右フリーキック(4)ヘディングシュート決まる。

第59回全国高等学校サッカー選手権大会は1月1日の開会式に続いて2日から一回戦が開始され、兵庫代表 御影工業高校は一回戦北海道代表 室蘭大谷と対戦した。御影工は前半初めは滑るグラウンドに苦しみ苦戦したが22分に右から八木のフリーキックを湊がききれいにヘディングで決めて先行した。35分に一点を返されたが前半終了直前に右コーナーキックを相手キーパーがはじいたボールを湊が又もヘディングシュートを決めて2-1として終わった。後半は御影工のペースとなり優勢にゲームを進め10分、28分といずれもコーナーキックを八木一湊のコンビで決めて4-1と快勝した。



対葦崎 後半15分八木の左からのセンターリングを 祖母井ダイビングヘッドで決める。

第2戦は1月5日前年度準優勝の山梨代表 葦崎と対戦し立上りは御影工のペースでよく攻め込んだがチャンスに物にできず逆襲からバックとキーパーがもつれて不運なゴールを決められさらにバックスのミスも出て前半に3-0とリードされた。

後半は御影工はメンバーを替えて攻撃主体のプレーでよく反撃し15分に八木のセンターリングを祖母井が見事なダイビングヘッドで決めて追いついたが逆終了直前に一点をうばわれて1-4と完敗を喫した。

今大会、前評判の高かった清水東は1回戦から苦戦続きで徳島商に3-1、大分工に1-1のPK勝ち、3回戦で帝京に3-1と勝って調子を上げ岡崎城西に1-0で勝って決勝に進出した。一方、茨城代表 古河一高は洛北に4-0、新潟工に1-0、浦和南を3-1と下し準決勝は葦崎を熱戦の末1-1のPK勝ちで決勝進出、決勝は打倒関東と夏冬

二冠を目指す清水東と2年振りの優勝を目指す古河一の激突となった。

あざやかなパスワークとボールテクニックを見せる清水東と大型選手がスピードに乗って走りまくる古河一の対照的なプレーは国立のグラウンドコンディションの悪さと4連戦のハードスケジュールの条件から古河一のパワープレーに有利に展開し、前半12分古河一が先制し終了直前清水東が一点を返し同点で終了。後半は古河一のペースで進み15分大野のシュートが決って清水東を2-1と下した。

今年も関東優位の大会となったがベスト4の2つを占めた東海勢は静岡のみならず岡崎

城西や愛知などの愛知県代表や四日市中央の三県も高いレベルにあり、打倒関東のための努力を重ねているのに敬意を表したい。これに反し近畿地区では、この大会が首都圏開催になって以来ベスト4に入ったチームが皆無の状況である。

これは近畿高校サッカーの上層部の保守的、大会運営中心的な考えが近畿代表の強化につながっていないのではないかと気になる。県内においても公式戦の日程が次々とあってレベルアップを目的とする対外試合のチャンスが持てないことがトップレベルのチームのレベルアップを妨げているようだ。

# わが大学の抱負

## 1部リーグ優勝だ

関西学院大学体育会サッカー部主務 久場 健二

我が関西学院大学体育会サッカー部は、本年度関西学生サッカーリーグにおいて、最終戦、最下位の天理大に勝ちさえすれば久びの3位、という位置に在ながらこれに敗れ、4年連続の5位という結果に終わりました。

しかしながら本年度のチームは昨年度よりも戦力的に大巾なダウンは否めず、加えてリーグ戦直前にレギュラーから、けが人が続出という危機に面しながらも、この成績をあげられたのは祐源主将を中心とする厳しい練習の成果であったと思います。

来年度こそは4年連続5位という状態から脱皮し、3位といわず優勝をねらうべく努力したいと思います。

さいわい、戦力的には、現在の3年生以下にリーグ戦出場者が多く残り、その意味では心強いのですが、ただ、大商大なども一・二年生に有望選手が多く、また昨日行われた入れ替え戦の結果、大経大が一部残留京産大が一部復帰という、我がチームにとっては星勲定がにくい状況になったわけでありませぬ。

経験という武器を生かすためにも、選手個々がまだまだ精神的、肉体的に成長せねばならず、そのためにも、あらゆる面において、厳しさというものを前面に押し出して、公式戦であるなしを問わず、勝負にこだわってゆきたいと思ひます。

今年、3位目前で天理大に敗れたくやしさを忘れず、今後一年間、部員一同、森田新主将以下、一丸となってがんばって行きたいと思ひます。

## 夢は1部リーグへの昇格

神戸学院大学サッカー部主将

我、神戸学院大学サッカー部は秋季リーグ戦では不調で、戦績はおもわしくありませんでした。

来年こそは、今年の屈辱をはらすために頑張りたいと思ひています。4回生が引退して、新チームとなったわけですが、このチームは、3回生が6人、2回生が14人、1回生が15人と、大半が1・2回生で、若いチームです。又、この春には、新入生を迎えます。ますます若い新しい戦力が期待できます。

我々のチームとしては1人1人の個性をいかし、そして、さらにチーム・ワークのとれたサッカーをめざしています。

本当に一人一人が個性豊かでチーム作りの上でも、少し苦労があるけど、それ以上いろいろな角度から、チーム作りができるのでメリットと考えています。

1981年の大きな抱負としては、やはり一部への昇格です。一つの試合に気遣い、厳しさをもち、まずは自分に勝つということですから毎日の練習においても、技術面を第一に、そして、精神面の向上をと考えています。

全員が一つとなって目標へ走り続けたいと思ひています。

神戸のサッカーニュースで大学のサッカー部の活動状況をお知らせしていただきましたので1981年は1から始まるという意味で2月号の特集として、関西学院大学体育会サッカー部、神戸大学体育会サッカー部、甲南大学体育会サッカー部、神戸学院大学体育会サッカー部の4大学の抱負をきいてみました。関東勢に押されればなしの関西のサッカー界に新たな新風を吹き込み、強くたくましい大学サッカーの展開を期待したい。

## 1人1人の個性を大切に

神戸大学体育会サッカー部主将 竹内 肇

初春を迎えた喜びを感じると共に、我々神戸大学サッカー部一同が決意を新たにすることは、「目標 一部昇格」です。特に私達最上級生にとっては、今年が学生生活最後の年になるので今迄に培ってきたものを全て出し尽したいと思ひています。一昨年は一部でプレーしたが、降格し、昨年は「一部返り咲き」を目標に頑張ったのですが、結果は良いものを残せずじまいでした。しかし、「今度はやれる」という気持ちを持てるようになりました。さて、現在の活動は、テストを控えている事もあり、筋力トレーニングやミニゲームを中心にしたもので、本格的な練習は、行っておりません。春からの練習に、良い芽が出て、基礎固めを考えている訳です。四月になると、新入生も入り32名の部員が40名以上になると思ひます。こうなると、クラブ運営で困難な面も出るのでありますがそれ以上に、層の厚さという運動クラブの財産を得られる事と思ひます。全員一致団結して、秋に「一部昇格」という大きな実を結ぶことができるように、一つ一つのプレーを大事にし、又一人一人の個性を大事にするように、各々が努力を惜しまず頑張りたいと思ひておられます。そして僕は、プレーもさることながら、授業のカリキュラムの違う大所帯で、「目標に向かって一つにまとまれば」ならないと、思うと今迄と違う、今年の正月です。

## チームの和をより充実させたい

甲南大学体育会サッカー部

〈荒新主将の話〉

現在、関西学生サッカーリーグ二部に所属し、部員数32名、リーグ戦成績は、Aブロックにおいて2勝2敗3分で、ブロック4位、二部では、16チーム中7位という結果に終わりました。この成績からも分かるのですが、上位チームには善戦するものの、下位チームへの甘さが目立ち、引き分けが多いシーズンとなりました。毎年我がクラブは、一部昇格ということを目指していますが、去年のチームは4年生8人が全員レギュラーで、今年はその穴を埋めなければならないため、目標の達成も難しく思われます。従って毎日練習に励み、現時点で長所と思われるチーム内での和を一層充実させ、弱点である精神面と体力面を強化し、一試合、一試合に全力を尽くし、全員一丸となって少しでも目標に近づけるよう努力したいと思ひています。また本年度は、新グラウンドも大学南に完成し、設備、広さも申し分なく、是非ともリーグ戦会場にしたいと意気込んでいます。

〈田中旧主将の話〉

去年のチームは、シーズンスタート時に掲げた守備中心のチームという目標を、秋季リーグにおいて達成できたと思う。その反面得点力不足に泣いた試合があり、上位二強に加わることができずに入れ替え戦出場を果せなかったことは残念である。

去年は大商大、青学大等の強豪にも積極的に胸を借り、また一時期平日にも練習試合を組むなど、実戦を通しての練習を多くした。そして色々なタイプのチームと試合をした結果、技術的に劣る場合でも精神力を充実させれば、それを乗り越えることがわかり、個人又はチームとして成長できたと思う。そういう意味で去年はサッカーの原点に戻った年といえるかもしれない。

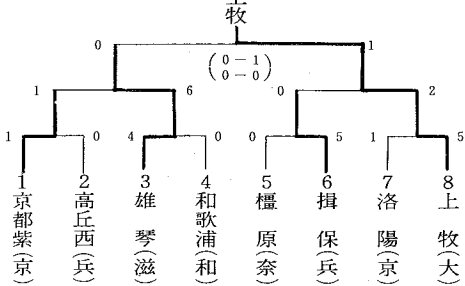
新年度のチームには、去年確立できた守備力や精神力にプラスして、今度はテクニック面での成長を期待し、去年以上の成績を望みたい。

今回審判については好意的に県下の尼崎、姫路、明石、神戸からご協力をいただき、この大会を円滑に運営することができました。深く感謝しております。

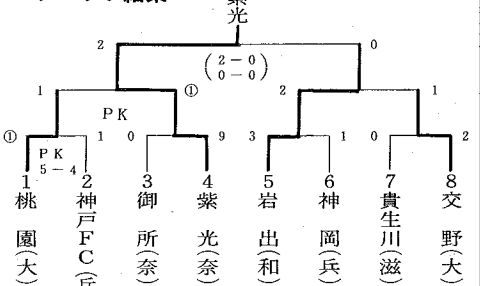
なお、次年度は奈良県で開催する予定です。(師田)

位の高丘西、そして地元推薦として神岡と揖保の計4チームが出場しました。県外からの参加12チーム中11チームが前日より国民宿舎赤とんぼ荘に泊り、指導者は懇親会を持つなど親善ムードの中にもタイトル・マッチの厳しさが見られ、非常に盛り上がった。また、

Aブロック結果



Bブロック結果



## 兵庫県勢振わず

関西少年大会竜野で開催

第4回さわやか杯関西少年大会は昨年12月14日、兵庫県竜野市の中川原運動公園にて開催されました。

大会には関西各地から16チームが集まり、A・B8チームずつ2ブロックに分けてそれぞれ勝ち抜き戦で優勝を争う形式で行われ、大阪の上牧、京都の紫光が優勝した。試合は三つのグラウンドを同時に使って1日で決勝まで行くと3ゲームと強行スケジュールであった。兵庫県からは県大会で1位の神戸FCと2

# 御影工 2年連続優勝

— 神戸市高校サッカー新人大会 —

1月10日からスタートした市内高校新人大会は8グループでの予選リーグを勝ち抜いた16チームがトーナメントで決勝大会を行ない準決勝に進出した4チームは六甲対東灘、御影工対御影と東部地区勢同志となったが、いづれも緊迫した好ゲームを展開し、六甲は東灘に引分けのPK戦で決勝進出を決めた。

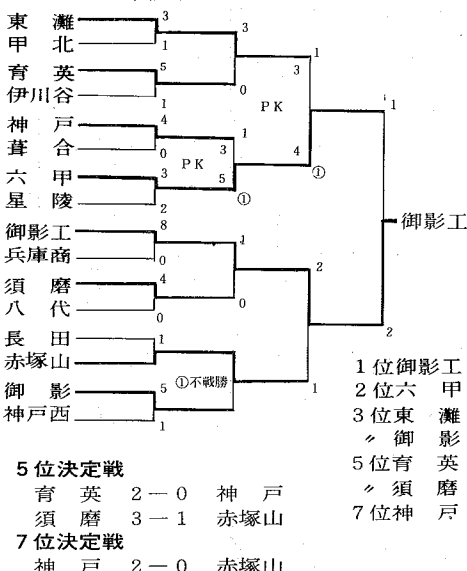
一方、御影工は立ち上がり2点を先行し、PKで1点を奪われたが、御影の反撃をかわして決勝に進出した。

決勝戦は1月26日中央球技場で行われたが、立ち上がりから六甲が積極的に攻撃し、ゴール前の御影工の反則でPKを得て先行したが、御影工も除々にペースをつかみ右からのセンターリングを永島が決めて同点とし前半を終り、後半も互格の試合を展開したがしだいに御影工の押しどめ状態から八木のシュートが味方FWの祖母井に当たってコースの変る好運な決勝点が決まり六甲をつきはなし、2年連続優勝をかざった。

今年の大会は昨年からスタートした予選リーグ戦の1部チームの中で灘と北須磨、滝川が予選リーグで姿を消すなど秋以後の強化の実ったチームの上位進出が目立った。

なお県大会出場権をかけたベスト8敗退チームの復活戦は熱戦となり最終戦で神戸が赤塚を下し、久しぶりの県大会出場を決めた

他、育英、須磨も出場権を手に入れた。決勝トーナメントの一回戦で敗退したチームの内でも甲北、星陵、長田、八代などはレベルが高く今後十分期待できるのではないかと。



## 目指せサッカー王国兵庫

— 県ジュニア強化合宿 —

兵庫県ジュニア強化合宿は昨年12月25日から27日の3日間(あさぎり寮泊)磯上グラウンド・錦城中学校を使用し、岡本隆英、山田仁孝、岸井謙児の指導のもとに行われた。

今回のジュニア合宿は兵庫県体育協会の主催であり、そのねらいとするところは昨年の国民体育大会の成績がきわめて悪く56年度国体の成績向上をめざし、活躍できそうな選手を強化することにあつた。強化選手は選手権大会(11月)で準決勝リーグ等で活躍のめだった者やトレセンで活躍している者から選抜した。

この3日間の強化練習は守備力に強化をおき、守備の基本と戦術が身につくよう指導した。その主な内容は、①コースを切る(2対1、1ゴール) ②1対1の強化 ③マークとカバー(2対2、3対3、4対4、1ゴール、2ゴール) ④追い込みと指示(4対2) ⑤つるべの動き(3対3、4対4、1ゴール、2ゴール) ⑥アウトサイドタックル ⑦守備での予備。

以上7項目の指導の結果、守備の基本と戦術についてはかなり身についた。

## 優勝は御影工?

昭和55年度兵庫県高校新人大会兼近畿高校選手権大会兵庫予選

55年度兵庫県高校新人サッカー大会の組合せ抽せん会が1月26日、参加32校の代表が集って行われて組合せが別表の通り決定した。

シード校は前年の新人戦の上位8校の所属支部の上位校を割当てたので阪神支部4校の他神戸、淡路、東播、西播各1校となった。

組合せを見ると、第1シードの御影工のAブロックは、神戸市予選でも御影工によく負けていた須磨が難関。小野、西脇工、福崎もかなりやれそう。

術についてかなり身につく理解できたと思われる。しかし、守備は1人で守備できるものではなく、チームとして共通した意識で守備することが大切であると考えられるので今回参加した選手の今後の精進が大切である。

参加者は次のとおりです。参加した諸君は今回の合宿で学んだ守備の基本と戦術をあらゆる試合において発揮できるよう練習に励んでもらいたい。

- [GK] 岡崎(滝川②) 宮本(尼崎北②) [DF] 脇本(伊丹北②) 山本(同②) 田中(兵庫工②) 上谷(伊丹西①) 長岡(滝川②) 妹背(六甲②) 大田垣(明石西②) 大木(北須磨②) 植田(関学②) 田中(同②) 小林(市西宮①) [MF] 今藤(伊丹北②) 古谷(小野②) 小林(社②) 青木(KFC) 西中(三原①) 浜田(北須磨①) 中野(六甲②) 白沢(KFC①) [FW] 酒井(関学②) 清水(岡田) 堤(六甲①) 桑木(西宮東①) 岩田(西宮東①) 須磨(伊丹北①) 山下(KFC①)

## 優勝は御影工?

昭和55年度兵庫県高校新人大会兼近畿高校選手権大会兵庫予選

Bブロックでは三原対東灘、明石西対川西明峰、県西宮がベスト8をかけてしのぎを削る。わずかに三原が頭一つリードか。

Cブロックは六甲、神戸、市川の争い。間げきを抜いて宝塚対育英の勝者が漁夫の利を得るかもしれない。

Dブロックは毎回上位進出しながら御影工の壁を破れない伊丹北の意欲と関学のはげしいプレー、ナショナルトレセン高1代表の和田を中心とする御影、市西宮も久しぶりの上

## 神戸市高校選抜 大阪府高校選抜を破る

日韓学生定期戦の前座試合として行われた神戸市高校選抜対大阪府高校選抜の試合は、試合内容はともかく3-1で神戸選抜が勝利を飾った。岡本監督は「試合には勝ったけれどもゲーム内容は大阪選抜のもので特に中盤をほんとどられたことに問題が残った」と反省し、「今後の指導に役立てたい」と語った。

立ち上がりから大阪選抜は球ばなれの早い動きで積極的に攻めシュートチャンスをつかもうとするが、神戸選抜の最終ラインが突破できない。神戸選抜はボールを奪うが中盤のコミュニケーションが悪くパスがつかない。足元へのパスが多く敵にからまれてすぐ奪われる。しかし、初めて出た縦パスを青木が押し込み先制、25分にも追加点をあげたが前半は完全に中盤を大阪に制された。後半5分、中野のセンターリングが永島、祖母井とつないで3点目。やっと神戸らしい形が生まれ点がとれた。大阪はMFのドリブル突破から再三再四得点チャンスをつかんだがシュートミスが多くまた、ラストパスのタイミングが悪く1点だけに終わった。

神戸市高校選抜 3(2-0) 1大阪府高校選抜 (1-1)

神戸市高校選抜メンバー (○印は学年)

- GK 岡崎(滝川②) 吉田(御影工②) DF 妹背(六甲②) 大木(北須磨②) 森野(御影工②) 井上(KFC①) 長岡(滝川②) 田中(兵庫工②) MF 田中(御影工②) 八木(御影工②) 中野(六甲②) 青木(KFC②) 白沢(KFC①) 和田(御影①) FW 祖母井(御影工②) 堤(六甲①) 永島(御影工①) 山下(KFC①) 落合(東灘②)

位進出をかけているし最激戦となりそう。

いづれにしても今大会のシードは前年の新人戦の結果を彩用したものだけにあまり参考にならないが、今年は神戸地区のレベルが上っており阪神地区代表との激突が見もの。

ベスト4の予想 ①御影工 ②伊丹北 ③六甲 ④三原

グループ別メンバー 東灘、御影、関学、須磨、市西宮

組合せは次のとおり。

